

「広島大学保健学ジャーナル」投稿規定

(2004年3月30日改訂)

- . 本誌の名称は「広島大学保健学ジャーナル」とし、年間2回発行する。
- . 本誌を発行する目的は次のとおりとする。
 1. 看護学, 理学療法学, 作業療法学, および保健学の学術的な発展に寄与すること。
 2. 保健学研究科内に共通の研究発表の場を提供するとともに, 専攻を越えた学際的共同研究活動を促進すること。
 3. 論文発表の機会を提供すること。特に, 若手教官および大学院生に論文をまとめる経験の場を提供すること。
 4. 広島大学医学部保健学科 / 広島大学大学院保健学研究科の研究・教育活動に関する外部への情報発信を行うこと。
- . 掲載される原稿は次のとおりとする。
 1. 看護学, 理学療法学, 作業療法学, その他保健学に関するもので他誌へ投稿中, または投稿の予定がない次のもの。
 - (1) 原著論文(短報を含む)
 - (2) 研究報告, 資料
 - (3) 総説, 各専門領域の解説的レビュー
 - (4) 各専門領域の教育・実習等に関する調査・報告
 - (5) 特集(講演録を含む)
 2. 修士論文題目, 博士論文題目
 3. 広島大学保健学集談会報告
 4. その他
- . 査読と採否の決定は次のとおり行う。

投稿原稿の掲載の可否は, 編集委員会が依頼した3名の査読者による査読結果を基に, 編集委員会で採用, 修正後採用, 修正後再査読, 不採用の判定を下し, 速やかに著者に結果を知らせる。論文の内容により必要に応じて学科外の専門家に査読を依頼する。
- . 原稿の様式はおおむね次のとおりとする(用紙サイズはA4)。
 1. 原稿はA4サイズ用の紙にワードプロセッサを用いてプリントアウトしたものとする。

日本語論文の場合, 1ページは40字 × 25行とし, 行間を十分にあげる。英語論文の場合はダブルスペースとする。
 2. 原稿には表紙をつけ, 題目, 著者名, 所属, Key words(3語)を, いずれも日本語と英語の両方で記載し, 連絡先(電話, Fax, E-mailアドレスを含む)を明記しておく。原稿には通しページを記入する。
 3. 原著論文は図表を含めて刷り上がり8ページ以内とする。

日本語論文の場合は, 表紙の次に和文要旨(400字程度)を付け, 最後に英文要旨(250語程度)を付ける。英語論文の場合は, 表紙の次に英文要旨(250語程度)を付ける。
図表や写真, 段組などのレイアウトは編集委員会に一任する。
 4. 短報, 症例研究は図表を含めて刷り上がり4ページ以内(字数は上記と同様)とする。
 5. 数字は特別な場合を除き算用数字を用い, 度量衡単位系は適宜MKS単位系, CGS単位系の使用を基本とする。
 6. 投稿原稿は4部作成し, このうち3部には著者名, 所属, 連絡先は記載しない。
- . 文献の書き方の例
以下の例に基づく様式にて, 本文のあとの最後にまとめて記載する。引用した文献は著者, 編者が多

数の場合は3名までを記載し、越えた場合は「・・・他」,「・・・et al.」のように記載する。文献は引用順が著者名のアルファベット順のどちらかに統一して記載すること。

1. 単行本の場合

(1) 単独あるいは共同執筆の場合

著者名：書名・引用ページ，出版社名，発行地，発行年

例（和文）：1. 河端雅也：腰痛テキスト．p.11-26，南光堂，東京，1998

（英文）：2. Cailliet, R.: Shoulder Pain 3rd ed., p.105-123, F.A. Davis, Philadelphia, 1991

(2) 分担執筆の場合

著者名：論文題名・編者名（編）：書名・ページ，出版社名，発行地，発行年

例（和文）：1. 上岡洋晴，岡田真平：体型・体格評価．武藤芳照，黒柳律雄，上野勝則
他（編）：転倒予防教室．p.46-53，日本医事新報社，東京，1999

（英文）：2. Clarys, J.P., Robeaux, R. and Delbeke, G.: Telemetered versus conventional
EMG in air and water. Winter, D.A., Norman, R.W. and Wells, R.P. et al.
(eds.): Biomechanics -B. p.286 - 290, Human Kinetics, Champaign, 1985

2. 雑誌の場合

著者名：論文題名・雑誌名，巻：ページ，発行年

例（和文）：1. 横尾京子，百田由希子，井上雅子 他：新生児から学ぶ看護婦の倫理的行動．看護教育，41：256-259，2000

（英文）：2. Okamura, H., Watanabe, T. and Narabayashi, M. et al.: Psychological distress following first recurrence of disease in patients with breast cancer: prevalence and risk factors. Breast Cancer Res. Treat., 61 : 131-137, 2000

. 原稿の提出方法

1. 原稿の提出期日は，編集委員会で決定して通知する。

2. 投稿時には，の様式に則った原稿を4部提出する。

3. 掲載決定通知を受領後は，A4サイズの用紙にプリントアウトした最終原稿（著者名，所属の明記してある表紙，和文・英文要旨を含む）を2部提出する。

なお，英文要旨は，題目，著者名，所属，Key words，要旨の順にダブルスペースでプリントする。英文添削のため，正確な日本語訳を添える。

4. 上記3の原稿，図表等のタイトル，要旨のテキストファイルを，2HDの3.5インチフロッピーディスク（1.44 MBのMS-DOSフォーマット済）に保存し一緒に提出する。

5. 原稿の提出先は，広島大学医学部保健学科「広島大学保健学ジャーナル」事務局のメールアドレスとする。

. 著者校正は原則として初校のみとする。

. 投稿された原稿は返却しない。

. 投稿論文の掲載料は著者宛に別途請求し，別刷30部は無料とする。

. 本誌の掲載内容に関する著作権は，広島大学保健学出版会に帰属する。